

# 冬のネズミはどこへ行く

# 東洋産業だより

Vol. 180  
2019年1月号

あけましておめでとうござ  
います。気持ちも新たに仕事  
始め、となりましたが、休暇  
明けに皆様の職場では異常は  
ありませんでしたか。



そんな異常のひとつに「ネ  
ズミ」があります。ネズミの  
被害は秋から冬にかけても多  
く報告されています。特に近  
年問題によく上がるクマネズ  
ミのご先祖様は東南アジアの  
森林に住んでいたと言われ、  
寒さが苦手です。さらに屋内  
に定着しやすいクマネズミ、  
ドブネズミ、ハツカネズミは

建物内はネズミから見れば、  
天敵がおらず、餌や水があり、  
暖かいため（一般に10度を下  
回るとネズミは寒さで行動が鈍  
ると言われます）、ネズミが好  
みやすい場所です。特に冬季休業  
中は人の気配がせず、侵入、定  
着しやすいため、要注意です。



外部の気温が低い冬はネズミ  
の活動は鈍くなっているはずで  
す。つまり、今活動や捕獲が見  
られるということは建物の内部  
や周囲に定着している個体がい  
ることにほかなりません。



一般的なネズミの糞の画像

- 左上：ドブネズミ 両端が丸く太い
- 右上：クマネズミ いわゆる紡錘型
- 下：ハツカネズミ 全体細めで小さい

ネズミはとても警戒心の強い  
動物です。皆さんが動いている  
時間に堂々と姿を表すことはま  
ずありません。でも、気配がな  
くなった時間を見計らって  
ひよっとしたら出没しているか  
もしれません。  
姿が見えないネズミですが、  
数々の証拠が存在を証明してく  
れる場合もあります。足跡、糞、  
尿などがそれです。お心あたり  
や、疑問などがありましたら、  
ぜひ一度お問い合わせください。



## 今月の豆知識：今年亥（いのし）年ーイノシシと花札ー

2019年の今年（亥年）は干支を指折り数えていくと最後に出てくる亥年です。そんな身近な動物とお正月の時期も合わせて今回は「花札」のお話をします。

花札は一組48枚で花かるたとも呼ばれ、当時は48枚であったポルトガルから伝来したトランプが起源だと言われます。絵柄を12か月折々の花が4枚ずつ（その4枚のデザインや内容も月ごとに異なります）にしたものだと言われます。ちなみにイノシシが登場する7月で花は「萩」です。「和歌こそなほをかききものなれ。あやしの賤、山がつの所作も、いひ出でつれば面白く、恐ろしき猪のししも、「臥猪の床」といへば、やさしくなりぬ」。吉田兼好の徒然草第十四段の原文ですが、これを現代語に訳すと、「短歌はとつても面白い。人望に乏しい人や獵師さんのやることでも歌詞にしたらいい感じ、こわいイノシシも「イノシシが（萩の）枯れ草を集めて作ったベッド」と言えば優雅だね。」これがイノシシと萩の組み合わせのもとであると言われています。イノシシは「猪突猛進＝ひとつの物事に対して夢中で、かつ猛烈な勢いで、突き進むこと」「多産で子孫繁栄の象徴」と良いイメージもあります。

花札は絵柄が美しく、超有名ゲーム機メーカーが老舗メーカーのひとつであり、海外の方へのお土産としても喜ばれます。ご家族やご友人とたまには一風変わった遊びで遊んでみてはいかがでしょうか。



東洋産業株式会社

本社 岡山市北区新屋敷町3-1-19 120

拠点  
TEL 086-241-8080  
FAX 086-241-8094  
大阪・姫路・岡山・倉敷・福山・広島  
高松・松山・金沢

www.to-yo-s.co.jp  
(バックナンバー掲載中)